



RI会長 レイ・クリンギンスミス

第2790地区ガバナー

織田 吉郎

第5分区ガバナー補佐

佐野 昭雄

第5分区幹事

鈴木 照夫

第2790地区地区委員

広報委員会

勝浦RC

千葉 正徳

環境委員会

館山RC

吉田 政紀

R財団寄付金小委員会

鴨川RC

伊藤 正人

勝浦ロータリークラブ

会長

関 一憲

幹事

中村 満

クラブ会報委員長

渡邊 ヒロ子

副委員長

渡邊 昌俊

委員

牧野 利美

前田 安彦

関 正夫

斎藤 麻美子

7月30日のプログラム

- ・ 浜口優芽さん 帰国報告

本日(8/6)のプログラム

- ・ 会員増強
- ・ 内田秀実君 入会式

2010年8月例会プログラム

13日(金) 休会

20日(金) ゲスト卓話

【いすみ鉄道鳥塚亮 社長】

27日(金) ゲスト卓話

【高梨竹雄氏・産廃問題】

会長挨拶 関一憲会長

本日は若い学生さんがたくさん例会に参加していただいております。将来を担う若い人がいるので「頑張れば何とかなる」というメッセージをお伝えしたいと思います。私の勉強仲間がJASDAQ市場に株式上場されました。嬉しいニュースです。

佐賀県伊万里市という小さな街からの上場で、地域の活性化からすると大きな快挙と言えます。IKK(アイ・ケイ・ケイ)株式会社という、主にゲストハウススタイルの結婚式場を運営する会社を経営しています。少子高齢化の中、衰退産業のウエディングでとても素晴らしいことと思います。地方の田舎から頑張って夢を追い続け努力した結果だと思えます。そして、もうひとつ。オグリキャップという馬が今月3日に骨折が原因で無くなりました。多くの方が、オグリは魅力的だったと話されます。地方競馬出身でありながら中央競馬のサラブレッドの中に混ざり、多くの結果を出したからだと思えます。一世を風靡し、後半は勝利に見放されていた中、引退レースの有馬記念で優勝という地方出身の星として感動があったからでしょう。私達も夢を追いかけ「頑張れば何とかなる」という気持ちで頑張っていきたいものです。特に若い人達はこれから積極的にチャレンジしていただき、素晴らしい人生を仲間と共に過ごし、世の中のために頑張ってもらいたいと願っています。



幹事報告 中村満幹事

- ・ 本日インターアクト年次大会に岩瀬会員、釜田会員が参加。
- ・ 8月6日例会日に内田秀実君の入会式をおこないます。



ゲスト 荻野豊君

北海道から参りました荻野です。実は漆原会員から塩田先生のご逝去を伺い、前回お邪魔した時に、塩田先生が暖かい言葉をかけてくださったことを思い出しました。塩田先生のご冥福と勝浦ロータリークラブのみなさまのご健勝をお祈りさせていただきます。



国際奉仕 古川範男君

旧国際奉仕委員長の残務整理ということでお話しします。留学から戻ってきたユメちゃんを見て、遅くなったなあということ、真夏のような性格に変わって戻ってきたので非常に嬉しいです。留学制度というのはこういう風に人間を遅く育てるのだなと実感しました。異文化に触れるということは、本人が気づかぬうちに潜在意識の中に何か積み積もってくるのだと思います。それは何十年後にふっと目覚めるかもしれないし、明日かもしませんが、必ず何らかの影響をその人に与えてると思います。さて、ユメちゃんにはどういう影響が出てきたのか、後ほど本人から、遠慮なく包み隠さず赤裸々に？お話ししてもらいましょう。



ニコニコ BOX (中村昇親睦委員長)

本人誕生日 (7.21) 関正夫 君

あと一年で自分の払った年金を取り戻せる年齢になりました。あと一年間がんばろうと思います。先週の土曜日に地区の国際奉仕のセミナーがあり、鈴木会員と会長と三人で行ってきました。私は用事があったので先に失礼させて頂き電車で帰ってきたのですが、蘇我の駅でどこかで見たような人がいるなと思い会釈したら向こうも会釈してくれました。帽子をかぶってリュックをしょって、ちょっと太めのおばさん... 堂本さんだったのですよ。そういえば、堂本さんが夷隅の方に来られるという話を古川会員から聞いたのを思い出して『これから夷隅の方に向かわれるのですか』と堂本さんに聞いたら、そうだという話で、本当は私マスコミ関係にあればしつこく色々お話をするのですが、遠慮して別ので席でゆっくりしてきました。そういうわけです。ありがとうございました。



配偶者誕生日 斎藤麻美子 君

かなり日が経ってしまったのですが、5月29日に主人が56歳になりました。結婚当初は「55歳で引退して悠々自適に過ごすんだ」と言っていたのですが、実際はそうはいかず次は60歳を目標にがんばっているようです。



自主申告 村石愛二 君

今日は娘のあゆみを連れてまいりました。東京農大の三年生の時からちょうど一年間、メキシコのチャップINGという大学に留学し、この28日に無事に戻ってきました。一年間の間にはパスポートを盗られたり、親は苦勞のし通して無事に帰ってきて本当に安心しております。高校の時に一年間メキシコに行ったおかげで、大学の2年生はショートプログラムで留学し、夏休みの間またメキシコに行き、帰ってまいりました。本当にロータリーのおかげで成長してるなぁと感じ、感謝申し上げます。



村石あゆみさん

メキシコに一年間行って今月28日に無事帰ってきました。今回の留学は大学の姉妹校の留学でした。高校の時に勝浦RCでメキシコに行かせて頂いたのも、その後二回もメキシコに行くことができました。ありがとうございました。



浜口優芽さんの帰国報告から...



10ヶ月間のメキシコ留学を終え、6月19日に帰国した浜口優芽さん。優芽さんはメキシコのクリアカン市でのホームステイで得た貴重な体験や

思い出を、留学中に撮りためた写真を紹介しながらお話ししてくれました。その表情は生き生きとして輝いていました。優芽さんのお話の中で、日本とメキシコの食生活の違いを痛感しながらも、10ヶ月の生活の中ですっかり馴染み、楽しむようになった様子が伺えました。留学前は『辛いもの』が大の苦手だったのに、ハラペーニョ(メキシコを代表する食材で唐辛子の一種)を丸かじりできるようにさえたというお話が印象的でした。逆に苦手だったのが『メキシコ風お寿司』というのも驚きでした。酢飯ではなく白米に、かに風味かまぼこ、アボカド、えびにクリームチーズなどが入っている寿司は最後まで食べられなかったとか。

ハロウィンやクリスマスなどを通して、メキシコの文化や習慣に触れる機会や、ホストファミリーの方々や留学生たちとの交流をたくさん持つことができたそうです。ホストファミリーの方々には、とても可愛がっていただき、普通の家族のように接することができたらしく、高熱を出してしまった時も親身になって面倒を見てくださったそうです。

また、野生鯨を見たり、マヤ文明の遺跡を1ヶ月かけて廻る旅行など、なかなか経験できないようなお話や写真が次々と飛び出しました。息切れしながら登ったというピラミッド、(メキシコの南東部、カリブ海沿岸の都市)カンクンの海の青さ、その日は満月だったのか?と感ずるような月が金色に照らす幻想的な海面、「シカレ Xcaret」という地下洞窟に流れる川の神秘さは、写真からも想像できるほどでした。

優芽さんがメキシコ留学で得た有意義な時間や、貴重な経験を、これから出会う様々な場面で生かしてくれることを期待しています。



出席報告 7月30日(金)出席委員会 (関祐介委員長)

会員	出席	MU	欠席	出席率
43名	31名	6名	6名	86.04%

欠席者：伊藤治昌 高橋奈緒美 田中 智
林 重利 吉野裕子 渡辺 保